



第76号

発行所
大原野自治連合会
大原野社会福祉協議会

地域の絆を大切に

―皆で支え合う大原野のまちづくり―



大原野自治連合会長 小原 喜信

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。皆さまにおかれましては清々しい初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は大原野自治連合会の事業活動にご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございました。本年も「住みよいまち大原野」を目指して自治会活動を進めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は振り返りますと、やはりコロナ対策なくしては何事も前には進めなりました。地域の皆様にとって楽しみにしておられた区民体育祭やフェスタ大原野はやむなく中止となりました。イベントの開催に向けては、それぞれの委員会や役員会が幾度となく開かれ、準備も着々と進められてきました。しかしながら、まだまだコロナの感染状況は収まりを見せません。このような状況下、大勢の地域の皆様の参加が想定されるこれらのイベント

については、開催が難しいとの最終判断に至った次第です。そのような中で、なかんや「大原野」推進協議会の傘下にあります各チームの昨年度の動きにつきましては、長引くコロナ禍にあって、いろんな制約を受けながらも皆で協力しあって、各々が活動を続けてきました。ここでその活動内容を紹介します。かかしチームは、地元大原野や洛西二エータウンの小学校等で、「かかしづくり」の中に「お米学習」も取り入れて、多くの子どもたちに郷土についての学びの場を提供する取り組みを推進してきました。子供たちがつくり上げた「かかし」は道のほりや街角で昼夜ずっと交通安全を願ひ見守ってくれていきます。そして、なかんや大原野農家版チームは、灰方町にあるJA大原野事業センター前の畑に「えい今頃ひまわり大原野」と称して、昨年も9月に綺麗なひまわりの花を咲かせています。これ

には洛西高校の生徒達も参加し、ひまわりを育ててくれました。また、加工食品友の会のチームは、手作りのかかしや姫味噌の製造販売のほか、たけのこなど大原野の農産物を使った加工品の開発、販売にも力を入れています。むらさきチームは、南春日町の畑でフジバカマを育てました。ここには季節ごとに長距離を移動する

「マルシェ大原野」で知られる大原野農産物等直売所運営協議会では、洛西二エータウンや近郊の住民の皆様が大原野産農産物をより身近に購入できる場の提供をと、ラクスエ広場での9月開催の「西京ひろば」や、11月開催の大原野農産物品評会・即売会の会場で出張販売を行いました。さらに阪急電車洛西口駅の改札口前でも、大原野産農産物直売所「西山の恵み」を設けて販路の拡大に努めています。このようにコロナ禍でも、な

ることで知られる渡り蝶の「アサギマダラ」も飛来しましたし、3年ぶりとなるフジバカマ祭りも開催されて、辺り一面に花いっぱい、蝶いっぴいの風景が広がっていました。よもぎチームはよもぎの葉を摘み取り、よもぎ団子をこのイベントで販売しました。

「大原野」では、一度停めてしまったことを再び動かすには大きな力を必要とします。区民体育祭、そしてフェスタ大原野は大原野地域での大きなイベントです。4年ぶりの開催に向けて、今年こそ地域の絆を発揮し、是非とも成功に導きたいと思っています。どうか地域の皆様のご支援・ご協力をいただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

「ウイズコロナ」の生活は当面続くかと思われませんが、今年も今年、全体的に上向きに跳ねる年、皆様にとっても、より良い年でありませう様に心よりお祈り申し上げます。

『第三乙訓ひまわり園を 知っていますか』

大原野社会福祉協議会長 安井 敏

新年おめでとうございませう。大原野地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大騒動も約3年過ぎました。今年度も各種団体の実施される行事は区民体育祭、フェスタ大原野などは中止になりました。社協も12月のしめ縄作りを実施するかの中止するか悩んだ末に、本部役員8名で施設を訪

実施することとしました。2年間の中止があったので、準備などはバタバタしました。大原野地域には、平安徳義会、西山寮、まほろば、大原野の杜、第三乙訓ひまわり園の5施設があります。この内一番新しい第三乙訓ひまわり園の事はほとんど知らないのので昨年の7月に社協の本部役員8名で施設を訪

して、収穫時期には販売もしているとのこと。健康者は高校や大学を卒業すると、就職をして定年まで働くのが一般的だと思えます。ただ障害者の進路は支援学校の高専部を卒業すると、軽度の障害者は就職して働けます。しかし働くことができない人達にとっては、このような施設は居場所としてなくてはならないものと実感しました。7月号で触れた時以上に、インフレや円安がひどくなっています。ニュースを見ても、ありとあらゆる品物の価格が上昇しています。私がよく利用する外食の店(牛井、回転寿司、うどん店など)は軒並み何十円かの値上げを実施しました。上がらないのは、年金と銀行預金の利子だけという高齢者の嘆きをよく聞きます。私達の若い頃の成長著しい日本はもう過去の事のようにです。

私は昭和39年の3月に大原野小学校を卒業しました。現在70歳です。同級生は2クラス合わせて84名いました。コロナ騒動以前は、2年に1回のペースで恩師の石田誠治先生も参加していただいていた。同窓会を開催していただきました。最後の開催は4年前だったと思います。84名の同窓生の内、男子7名、女子4名が亡くなったことは確認しています。現在の高齢化社会では、死者数がやや多いように感じます。ただ、同級生の亡くなった話が入ってくる、自分も死んでも不思議でない年齢に

心鏡邑和

●「散る桜、残る桜も、散る桜。江戸時代の禅僧、良寛和尚の辞世の句と言われている。わずかに三つの単語だけで自然の摂理、人の世のはかなさを見事に表現している。悟りも感じられる。この句を知ったのは定年をむかえた先輩の送別会だったが、その時は「しゃれたスピーチ」ぐらいに軽く受けとめていた。だが、歳をとるにつれ、句の深みがどんどん増してくる。年末になると「啓翁桜」という超早咲きの桜の切り花を送ってくれる友人がいた。山形県産の冬に咲く桜。この桜に南天、千両、水仙をそえて正月の活花にしていた。七日ごろに白い花が咲き出した。だが、今年も桜のない活花になってしまった。友人が散って二年になる。桜はまだまだだが、今年もコロナも少し落ち着いて、ひさしぶりににぎやかな春になりそうだ。「清水へ祇園をよぎる桜月夜、こよひ逢ふ人みなうつくしき」。与謝野晶子の歌である。こちらはあでやかで、なまめかしい。散らないために必死になって健康食品をさがしているような、悟りとは縁遠い俗人にとっては、やはり、あでやかな桜の方にひかれてしまおう。

(南春日町 中澤隆司)



社会福祉協議会への
賛助金
ご協力よろしく
お願い致します。

消防団だより

消防団と私

大原野消防分団
小塩支部班長 中村 崇雄

新春の候、大原野地区の皆様におかれましては、よき初春をお迎えのことと存じます。今冬は、季節性インフルエンザとコロナの同時流行が懸念され、さらなる感染予防への配慮が必要となりそうです。未だ収束には至らない新型コロナウイルスの影響と、自然災害の猛威にも向き合わなければならぬ状況は、心身ともにお疲れのことかと存じます。

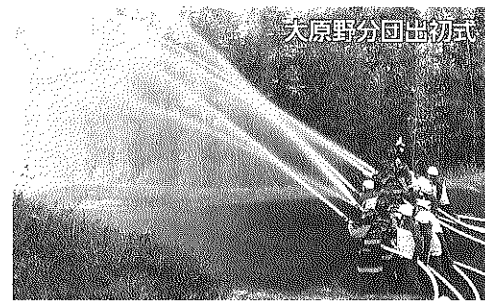
さて今回は私が入団した経緯と感想を執筆させて頂きます。私は結婚を機に小塩町に転居してき

たのですが、それまでは大阪、奈良、京都の各地を転々としてきました。その町内との関係も皆無だったのですが、現在は子供を授かり、子供と同年代のご近所さんの親御さん達と親しくなり、その方達が消防団に入団しておられ、勧誘を受けました。勧誘を受けた時は迷いましたが、これも何かの縁だろうと思ひ、入団を決意しました。

入団してみても初めに感じた事ですが、それは十余年たった今でも変わらないのですが、皆さん親切で面白く誰も威張って

なく、笑いが絶えず、とても心地よいメンバーだと感じております。転居してからは友達がいなかったのですが、今では他の支部の消防団の方とも仲良くなり、家族ぐるみでキャンプ、BBQ、釣りや、カレーを食べる他府県まで行ったりと、消防団活動以外でも楽しんでおります。

入団当初は十名程いた小塩支部でしたが、数年前から、転居や転勤の為に退団を余儀なくされ、現在は七名で活動しております。現在小塩支部では消防団員の募集を随時行っております。勧誘活動をして感じた事が、「あの人が入団してくれたらさっと消防団を楽しんでくれるだろう」という気持ちで私を勧誘してくれた方々



大原野分団出初式

も同じ気持ちだったのだろうと改めて感じました。四十歳代で入団をし、足手まといになるのではないかと、思ったりもしましたが諸先輩方を見習い同心協力していきたいと思ひます。

最後になりましたが、平素より大原野地域の皆様には消防団活動に對しまして温かいご支援を頂き厚く感謝申し上げます。

魅力のある大原野農業

J A京都中央大原野支店
地域運営協議会青年部 齋藤 秀稔

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月に「大原野農産物品評会・即売会二〇二二」をマルシェ大原野と共催で開催致しました。21年はコロナ禍のために中止をしましたが、昨年は部会のメンバーと協力して対策を講じ実施することができました。20年にラクスー北側広場で開催し、好評を頂きましたので今回も同じ場所です実施させて頂きました。

『洛西ニュータウンを

はじめ広く西京区の方に新鮮で美味しい大原野の農産物を食べて頂く機会とする」構想から、大原野の農家が生産した農作物の品質と技術の向上を目的としています。

私は今年で、農業を始めて5年目になります。初めは、野菜を生産出来るか？という基本的なことから、緊張や焦りを感じながら日々試行錯誤を繰り返して、地域の農家の方に助力を得つつ続けてこられています。もち



京都 西山(大原野)ブランドロゴマーク

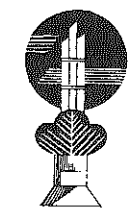
ろん家族の協力・理解は言うまでもありません。周りの方々に感謝しながら農業をしています。

直売所で買って頂いたお客様に、このナスがおいしいと言ってくるととても嬉しく自信になります。10月にナスの販売が終了したとき、来年も楽しみにしていますと言われ、また頑張ろうと思ひました。それと同時に、さらに良いものを用意したいと思います。この様に向上心を持って何事も行ってい

れば「人」は成長し力をつける。そしてその力を合わせれば「地域」が成長すると思ひます。

地域の活性化と言ってもなかなか一筋縄では行きません。型にはまらず、過去を大事にしながらも未来に向けて個人の気持ちをもっと出していければ、必然的に「個人のため」から「地域のため」に繋がるのではないかと思ひ、日々おいしい野菜を突き詰めていきたいと思ひます。

今後とも大原野青年部の取り組みにご協力をお願い致します。



70歳以上の皆さんが

地域の担い手

大原野老人クラブ連合会長 植松 孝 (悠愛会)

新年明けましておめでとうございます。皆様方にとって良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年度は「悠愛会」の活動に対しご協力を賜りました事、厚く御礼申し上げます。しかしながら昨年度の活動内容は、新型コロナウイルス禍により今一つ満足はいかない反省の多い年となってしまいました。又、地域の高齢化が進み、活動への参加の減少が目立って来ていますように感じます。

新規加入者も減少傾向が顕著に現れています。皆

さんの声を聴くと、70歳を過ぎてもお勤めの方が多く、地域との付き合いが希薄で面倒に感じている。会社等の関係の付き合いが継続している。又、近年では町内での助け合いも変化してきた事が思い当たるなど聞いています。老人クラブ自体の存在に魅力がなくなってきたのではないかと思われまます。しかしながら、諸先輩方が築いてこられた長い歴史を考えると、もっと地域の仲間と共に意見を出し合って、時代に合った老人クラブの進化を図って行きたいとの

“ご協力ありがとうございました”

日赤社資増強運動 (令和4年度) 合計 540,600円	共同募金 (令和4年度) 12月7日現在 合計 431,500円
---	---

《天ぷら油回収》 月～金 A.M.9:30～P.M.3:30 大原野総合自治会館 持参した容器は必ず持って帰って下さい	《アルミ缶プルトップ回収》 月～金 A.M.9:30～P.M.3:30 大原野総合自治会館 プルトップをあつめて車椅子をもらいましょう！ご協力お願いします。 一 車椅子を貸出しています
---	---

小畑川の竹の里大橋から新上里橋までの堤防は、年に三回か四回ほど業者が除草する。草が覆い茂るとガードレールをはみ出して、堤防沿いの車道の視界が狭くなる。小畑川の南側は一方通行で、市バスが通るのと通学路になってるので、草がはみ出すと道路が狭く見えて危険である。時折の除草が必要になってくる。草が生えていると、小畑川の景観も悪くなる。しかし草を刈って綺麗になった筈の堤防に、今度はポイ捨てのゴミが目立って散乱している。時には自転車などの大型ごみも雑草の中で埋もれていたものが、除草されて堤防に姿を現す時がある。人間の心の雑草である。ある日、小畑川の堤防が除草されて綺麗になった時、捨てられていたアルミ缶を見つけた。プル

トップを取ろうと思つてアルミ缶を拾った。拾ったアルミ缶はプルトップだけ取られていた。アルミ缶を捨てた人の、一方ではプルトップを集めるという活動をしながら、一方でポイ捨てをするという矛盾した人格に苦笑した。(詠空)

編集余談

「大原野だより」は大原野自治連合会・大原野社会福祉協議会に所属する各種団体の活動を中心に紹介しています。毎年夏号では自治連合会を組織する団体を一覽表にして掲載しています。大原野地域はこれらの各種団体の皆様の活動によって成り立っています。1月1日付と7月1日付の年2回発行しています。年2回の発行によって、各種団体の活動を漏れなく紹介できるように努力しています。各種団体の活動は全てボランティアです。ボランティアゆえに上下の関係もなく和気あいあいとした活動がなされています。その他にも大原野に関する情報をお伝えしています

「大原野だより」でも一緒に編集する仲間を募集しています。興味ある方は大原野自治連合会事務局(075)332-6444まで連絡ください。

76号に寄稿いただいた皆様、ありがとうございます。読者の皆様方の投稿やご意見もお待ちしております。

地域を愛し、 未来を創造する子の育成

大原野小学校 教頭 城ヶ崎浩也

新しい年を迎え、地域の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育の推進にご理解、ご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

コロナ禍のため、学校行事だけでなく、地域行事も中止、もしくは縮小となる中、九月十一日に行われた「大原野神社御田刈祭奉納相撲大会」を観覧することができました。子どもたちが、真剣な眼差しで相撲を取る姿、勝っても負けても深く礼を尽くす姿に感動しました。それと同時に、子どもたちが、地域の皆様に愛され、大切にされていることを感じました。新生児から中学生までが土俵に上がり、周りの大人たちがほほえましく見守る姿が印象的でした。周りで見守っていた大人の人も子どもも、この時は同じように見守られていたのではないかと感じました。

このように子どもたちが安全で、安心して生活できる環境をつくっていただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

また、子どもたちの学習においても、一年生の「な

ぬか会の方との交流」、二年生の「案山子づくり」、三年生、五年生の「田植え、稲刈り体験」四年生の「大原野の杜の方との交流」など地域の方に貴重な学習の機会を提供していただいています。このような学習を通して、子どもたちは、自

「みんな一緒に」

大原野中学校 校長 中島一郎

今年度も、コロナとともにあった1年でした。感染拡大の第7波は昨年度以上の広がりを見せ、一日当たりの新規感染者数は、今までにないほど増加しました。しかし昨年度と違うのは、まん延防止等重点措置も緊急事態宣言も出なかったおかげで、全ての学校行事が予定通りに実施できた



然豊かで伝統ある大原野地域について学習を深めることができると感じています。そして、地域の方と接し、交流することが子どもたちの人と関わる力を育むことにつながっています。

このような学習を土台に、学校目標である「未来を創造する力」を養ってほしいと願っています。

これからも地域の皆様とのつながりを大切にしながら、子どもたちの健やかな成長と笑顔のため、教職員一同、努力していきます。本年も、どうぞよろしくお願いたします。

生徒たちを受け入れて頂き、大変助かりました。
2学期には、合唱コンクール・文化祭・体育祭が無事に実施できました。特に、合唱コンクール・文化祭については、この2年間コロナ対策のために学年ごとに分割したり、2部制をとったりしてきましたが、今年度は、全校生徒と保護者の方々が本校体育館に一堂に会し、開催することができました。待ちに待った瞬間でした。全校で同じ空間を共有することの素晴らしさ、大切さを心から感じました。全力で取り組んだ合唱コンクールや展示活動、個性を爆発させた舞台発表、生徒会によるいじめ撲滅のためのピンクマスク運動を通じて、生徒たちの大きな成長を見取ることができました。又、多くの保護者の皆さんにご来校いただいた体育祭では、真摯な姿で競技に取り組む生徒たちの姿や、全力で競技を終えた満足感でいっぱい表情に、心を



思いの豊かな子供たち

上里小学校 教頭 吉田朋子

初春のお慶びを申し上げます。平素より本校教育の推進に深いご理解と温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルスは収束したとは言えませんが、今年度は感染対策をしながらこの2年間実施することが出来なかった行事も行っています。春には、2年生と5年生そしてPTAや地域の皆様の協力を得て3年ぶりに田植え(手植え)をする事ができました。そして秋には稲刈り、脱穀も例年のように行うことができて上里小学校の貴重な稲作体験を続けていくことができました。田植えから4ヶ月で立派に育った稲穂や脱穀後の籾を興味深く見つめている子どもたちの姿がありました。

「ツバメが巣を作る家は縁起が良い、幸せになれる」という昔からの言い伝えがありますが、上里小学校にはたくさんさんのツバメの巣があります。「巣作りは適当に人の出入りがあり、湿気の少ない爽やかな環境で、巣を壊さない優しい人がいる場所を選ぶ」そうです。昨年の秋には「なやかんや大原野」の方にフジバカマの苗木を頂き、校内で紹介しました。残念ながらフジバカマに飛来するというアサギマダラを本校で見ることができませんでしたが、中庭や運動場奥の「いのちの

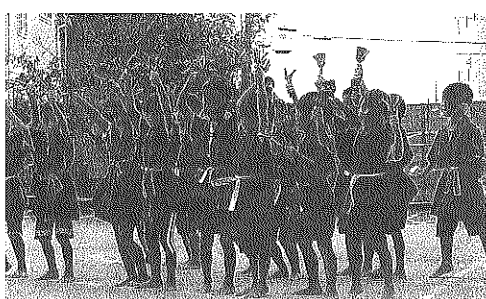


大原野幼稚園

大勢のお客さんに見守れる中、運動会を行いました。子どもたちは練習した成果を生き生きとした表情で発揮しました。



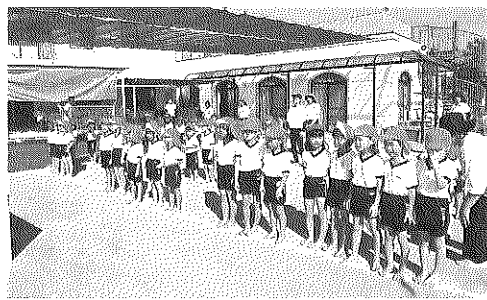
上里竹の子こども園



気持ちのいい秋空の下、みんなが新型コロナウイルスに負けないよう心を込めて応援の踊りを頑張ります。

大原野こども園

爽やかな秋晴れの中運動会が行われました。今年は選手宣誓にも取り組みました。リレーや綱引き・表現遊びと、どの競技も力一杯頑張っていました。



のびゆく園児たち

体振だより

H O P P !
S T E P P !!
J U M P !!!

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
大原野地域の皆様には、体育振興会の活動に対しご支援ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
昨年も、コロナウイルス感染拡大で大変な一年となりました。体育振興会事業については、ウィズコロナという言葉どおり、京都市及び西京区の大会はコロナ感染症対策を十分行い、ほぼ全て行うことが出来ました。大原野地域を代表して出場いただきました選手の皆様に心より感謝申し上げます。
尚、大原野地域の事業につきましては、地域役員の皆様と協議を行ってまいりましたが、地域の皆様のより安全を考慮し自粛することとなりました。今後は感染症に警戒を緩めることなく感染症対策に万全を期したうえで、事業を行っていく予定です。
事業の再開に役員一同努めてまいりますので、皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びになりますが、時節柄、御身体ご自愛いただきますと共に、コロナウイルス感染症の一刻も早い収束をご祈念申し上げます。
大原野体育振興会長 上田清和



市スポーツフェスティバル
グランドゴルフ代表チーム



西京区バレーボール大会
代表チーム (第3位)

令和4年度事業 今後の予定

- 令和5年
- 1月15日(日) 西京区卓球大会 (樫原小学校) 予定
 - 2月12日(日) 大原野区民卓球大会 (大原野小学校)
 - 2月26日(日) 洛西七地域大会 (桂坂小学校)
 - 3月19日(日) 里山ウォーキング (主催: 森林公園運営管理協会)
- 上記予定の事業は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止の場合があります。

ホ
ッ
プ
!
ス
テ
ッ
プ
!!
ジ
ャ
ン
プ
!!!

大原野地域の主な行事予定 (令和5年1月~6月)

- 1月9日(月) 出初式 (消防分団)
- 1月下旬 凧揚げ大会 (少年補導委員会)
- 2月中 社協賛助会員募集運動 西京全域 (社会福祉協議会)
- 3月7日(火) “なぬか会”
- 3月15日(水) 大原野中学校 卒業式
- 3月19日(日) 里山ウォーキング (森林公園運営管理協会・体育振興会・少年補導委員会)
- 3月23日(木) 大原野・上里小学校 卒業式
- 4月上旬 大原野中学校 入学式
- 4月上旬 大原野・上里小学校 入学式
- 5月上旬 “なぬか会” (社会福祉協議会)
- 5月中 日赤社資増強運動 全国一斉
- 5月20日(土) 社会福祉協議会 評議委員会 大原野総合自治会館
自主防災会総会・自治会長会議
- 6月上旬 “なぬか会” (社会福祉協議会)
- 6月21日(水) 社協ふとんクリーニング 大原野地域のみ

定例会議/事業

- 自治会長会議 毎月第3土曜日
- 使用済み食用油回収事業 毎月第3土曜日
- 大原野小学校 古紙回収 (PTA) 毎月第2土曜日
- 上里小学校 古紙回収 (PTA) 毎月第3木曜日
- 大原野中学校 古紙回収 (PTA) 毎月第4金曜日
- ◇子育て支援事業(対象者:これからママになる方、0~3才の乳幼児とその親)
- ママ・ちゃいるど大原野 会場は平安徳義会他4か所を順番に (10:00~11:30) 毎月第2木曜日

(社会福祉協議会) 関係

- ◇健康すこやか学級 (対象者: 65歳以上の方)
- やさしい筋トレ・たのしい筋トレ 大原野総合自治会館 毎月第1木曜日
- “ ” 右京の里会館 毎月第2木曜日
- “ ” 春日町自治会館 毎月第3木曜日
- “ ” 上里小学校コミュニティホール 毎月第4木曜日
- おしゃべり会 (年齢制限無し) 右京の里会館 毎月第3火曜日(8月は休み)
- まろやかクラブ(囲碁) 中央老人クラブハウス 毎週水曜日の午前中

民生児童委員全国一斉改選

地域に寄り添い、より一層の活動を

大原野民生児童委員協議会長 小原節子

新年明けましておめでとうございます。日頃は民生児童委員活動にご理解とご協力を賜り有難うございます。昨年の12月に三年に一度の全国一斉改選が行われ、大原野学区では6名の民生児童委員が交代いたしました。また、今年度より「東野町・東山台・エルパーク・滝ノ下」に新たに1名の民生児童委員が増員となり、より細やかな見守り活動の体制が整いました。令和2年よりの新型コロナウイルス感染症拡大により私達の活動も制限され、地域の状況も変化するなど、新たな課題も生じてきています。高齢化による認知症問題、高齢者世帯の増加等々

様々な問題が山積してまいります。今、大原野地域では、お一人暮らしの高齢者が420人、75歳以上の高齢者が1,700人近くおられます。私達民生児童委員は、地域の皆

様の身近な相談相手としてご相談に応じています。また、地域でのお困り事の「つなぎ役」として行政や社協をはじめ自治会、学校など様々な関係機関や団体と連携を密にし皆様の支えを行っています。

私達民生児童委員18名は、お一人暮らしの高齢者の方に声掛けや見守りを行う老人福祉員7名と共に、この住み慣れた大原野で安心して暮らしていただくために、委員同士が一体感を持ち連携を図りながら、地域に寄り添った活動を展開してまいります。どうぞこれからも引き続き皆様方のご協力よろしくお願い申し上げます。

民生・児童委員名簿 (令和4年12月改選)

民生・児童委員	担当区域
岩崎 睦子	北春日町
小原 節子	南春日町
小島 睦子	上里北ノ町
治田 佐代子	上里南ノ町
小田 芳弘	灰方町
日下部 純江	石作町
奥田 康子	小塩町
西田 昌司	上羽町
齋藤 民江	石見町
上羽 正樹	宇ノ山町
畑 昌之	外畑町・出灰町
古石 美和子	紅葉町
浅田 光代	勝山町
若林 佐由美	鳥見町
服部 康江	男鹿町
森 美幸	東野町・東山台・エルパーク・滝ノ下
(主任児童委員)	担当区域
齋藤 恭江	大原野小学校区
土高 永貢子	上里小学校区

「なぬか会」

3年ぶりの日帰り旅行に行ってきました!

琵琶湖ミシガンクルーズとびわこ大津館での昼食・イングリッシュガーデン散策

10月7日(金) 秋雨の中、総勢25名で久しぶりの日帰り旅行を楽しみました。午前9時30分に大原野を出発、高速道路は大きな混雑もなく大津港に無事到着。琵琶湖のエンターテイメント船「ミシガンモータークルーズ」に乗船、いざ

10月7日(金) 秋雨の中、総勢25名で久しぶりの日帰り旅行を楽しみました。午前9時30分に大原野を出発、高速道路は大きな混雑もなく大津港に無事到着。琵琶湖のエンターテイメント船「ミシガンモータークルーズ」に乗船、いざ

出航。雲が白く、山々がうっすらと見え、風もないうつらなクルーズでした。ミシガンパーサーによる観光案内や音楽ライブもあり、素敵な歌声(なかなかの美声でした)に拍手を打って、笑顔はころもひと時を過ごしました。クルーズの後は、琵琶

湖に浮かぶ湖国の迎賓館と言われる旧琵琶湖ホテル「びわ湖大津館」で豪華な創作フレンチを堪能。デザートまで皆様しっかり召し上がっておられました。昼食後は希望者でイングリッシュガーデンを散策しました。帰路の途中、桂川サンプラザでお土産を購入、特に人気の大津名物「走り餅」を購入された方が多かったようです。早い者勝ちだったようです。



く食べる事...。これぞ元気の秘訣と、改めて感じさせて頂いた楽しい一日でした。(古石)